



GLO[▷]AL CENTER

アニュアルレポート 2021

THINK
GLOBAL,
ACT LOCAL



P01-02 Index & Voice

P03-04 Library

P05-06 Service 2021

P07-08 Students 2021

P09 Event、Blog

P10 Support

認定NPO法人グローバル人材開発センター
(略称：「グローバルセンター」・「グローバル」)

若者の声が響く、変化の起点になる 若者と社会がつながる場を目指して。

グローバルセンターに集まる若者の声を一部ご紹介いたします。

▶高津 遙さん（大阪大学大学院）

グローバルは、現代社会において「私たちは何を学ぶべきか」、つまり、学校教育では学べない「現代の必須科目」を常に模索しています。私は、そういった新しい教育を模索する姿に共感し、エントレスインターンをしています。そんなグローバルは今後も、世の中の教育活動の風通しを良くしてくれると思います。

▶堀 ななこさん（HELP University(マレーシア)）

上質な対話を生み出すプロ集団。個人として尊重されている事が伝わっているからこそ、さまざまな立場や年齢の人との会話が生まれるのだと思うと思います。グローバルスタッフの方がその場にいるだけで、話しやすさがぐっと上がります！

▶松本 安弘さん（龍谷大学）

グローバルは僕にとってよい意味で「人生を変えてくれた」場所です。「数十年後の自分がどうあるべきか」ではなく、「今の自分が何をしていたいか」を意識させてくれたのは、グローバルさんとの出会いがあってこそだったと感じます。いつもLab※に遊びに行くと、新しい出会いがあり、素敵な場所だなと感じており、これからもどっぷりお世話になりたいです！！

※学生活動拠点「Students Lab」

▶坂東 拓海さん（京都芸術大学）

グローバルのスタッフの皆さんは、見る人にとっては「大人なの？」って思うかもしれない。それは何事に対しても知的好奇心を持ち、疑い、考え、会話をすることができる人たちだから。どんな些細なことでも自分ごとに置き換え、思考停止せずに学びを生み出そうとする姿勢はここにすればわかるはず。僕はこんな大人になりたいと思った。

▶山本 恭督さん（京都産業大学）

私にとってグローバルとは一言でいうと挑戦する場です。私は内向的な人間であったため、対人関係を避けていました。ですがグローバルと出会い、企業と学生の仲介をして頂くことで関係性をスムーズに構築することができました。

また学生が抱える問題は就職活動・学生生活…時には社会問題など多岐に渡ります。グローバルはそのような悩みに適応した支援をしてくれます。それは答えを与えるということではなく、ヒントを与える。そして時には一緒に悩み、考えてくださる。このようなサポートが魅力だと考えています。

	年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018
PBL	参加学生数（名）	175	312	555	454	435	389
	実施数（PJ）	23	33	35	25	28	22
AL	参加学生数（名）	35	35	206	178	195	237
	実施数（PG）	1	1	2	2	2	2

▶溝川 彩夏さん（立命館大学）

私にとってグローバルは学びの場であり、挑戦の場でもあります。プログラム参加からインターンの活動を通して、今までたくさんの「学び」と「挑戦」を繰り返してきました。新しいことを知ったり、いろんな人と出会ったりして、得たものを活かす機会も、挑戦した後にさらに次の挑戦ができる機会もある素敵な場所です。これからもたくさん「学び」と「挑戦」を繰り返して、成長していきます！

▶須藤 ゆうひさん（滋賀大学）

私は高校二年生の時の高校生プログラムの参加をきっかけにグローバルに通うようになりました。グローバルでは同じように社会課題に関心のある同世代や、若者の話を真剣に聞いてくれる大人と沢山出会えて、その人たちと関わることで成長もしてきました。私にとって第三の居場所と言える場所です。私だけでなく、他の人にもそう思ってもらえるあたたかきがある場所なのでぜひ飛び込んでみてください！

▶今中 愛さん（京都府立桃山高等学校）

一言で言うなれば私を変えてくれた場所です。一緒に活動するスタッフさんたちは優しく面白くて私よりも何倍も知恵があり、学生の私たちに良い影響を与えてくれました。グローバルに行く毎回はワクワクドキドキの連続です。私自身、その連続が将来したい事へと繋がりました！！

▶安藤 凛さん（京都府立京都すばる高等学校）

私はグローバルでの活動を通して自分と改めて向き合うこと、様々なことを色々な人から学ぶことができ、自分にはなかった新しい世界と沢山出会うことができました。そんな世界、学びと出会えるのはグローバルだからこそだと思います。そして、そんなグローバルが大好きです。あなたもグローバルに参加して自分の世界を広げてみませんか？色鮮やかにしてみませんか？

アクティブラーニング グローバルセンターの PBL・AL 実施状況

▶ PBL【大学・高校】

年度	2019	2020	2021
参加学生数（名）	115名	116名	101名
実施数（PJ）	16 PJ	19 PJ	14 PJ

▶ ALプログラム【大学・高校・中学】

年度	2019	2020	2021
参加学生数（名）	291名	330名	675名
実施数（PG）	2 PG	5 PG	9 PG

大学生向けPBLの安定的な実施に加え、中高生向けの新規ALプログラムを着実に増やすことで、早期段階での時代感に合わせた実践的な学びの機会を届けています。

“SURPRISE”

ここ数年のコロナ禍で非日常になったこれまでの日常と、新しい日常。
変化の中、数年前に描いた未来のシナリオが実現されてきました。
プログラムやイベントの参加者一人ひとりの新たな一面を発見したり、
未知の学びに触れたり、グローバルセンターに関わる方々の
日々の驚きと発見を大切にしながら歩んでいます。



高校生プログラム卒業生がインターンに！

●Who

集まる人から見る、エコシステムの広がり

プロジェクトやイベントへの参加者が、メンター・インターン・ボランティア・プロボノなどとして役割を変え再度参加するなど、人々のグローバルへの関わり方がより多面的になっています。事業でもこうしたメンバーの存在が増しており、今では事業運営メンバーがスタッフだけで完結することがほぼなくなりました。企業も人事部だけの関わりではなく、会社全体で若者の学びの場づくり、地域・学部・専門を超えたチームづくりに参画いただいています。

●Where

場所から見る、場づくりの変化

オンラインツールが普及し、今や当たり前のインフラとなりました。
世界はだんだん小さくなり、全国の、志や問題意識でつながる人同士
が出会いやすくなりました。

またQUESTIONというリアルな拠点に惹きつけられ、日々、日本中から面白い人が集まっています。

リアルとオンラインの場で多くの人が交差する学生スペース

「Students Lab」は単なる居場所ではなく、社会・世界の縮図です。



Students Labでのワークショップの一コマ

279回

ワークショップ
・企業研修実施

42校

参加大学数
(大学院含む)

約250件

PBL・AL
実施件数

35校

参加高校
・中学校数

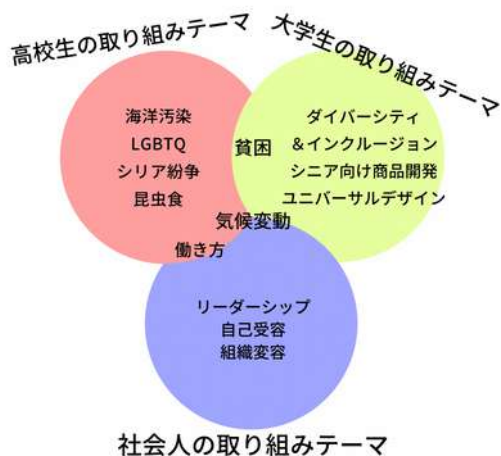
設立からこれまでの実績

●How & How much

数字から見る、業績

大学から始まったアクティブラーニング（PBL）支援は、今や高校生・中学生までを対象としており、より多くの学生がリアルな社会と交わるきっかけを生み出し続けています。

また、アクティブラーニングで培われた主体的で対話のある場づくりはワークショップや企業向け研修に生かされ、学生・社会人の両方が参加し学び合う、グローバルセンターが目指す社会に開かれた学びの場を形成してきました。



●What

テーマから見る、グローバルセンターが捉えている社会の流れ

設立から約10年、扱うテーマや課題は、会社案内作成やPRの課題等、答えや成果がクリアなものから、例えば「貧困とは？」のように、抽象度の高い、世界中で議論されている課題へとシフトしてきました。

特にこの数年、グローバルセンターが投げかける問いに連動するように、交流会などに集う学生や社会人の問いも、より開かれたものになっているように感じます。

2019～2021年度に始まった新規事業例 一覧 (順不同・略敬称)

- ▶ 三菱みらい育成財団「Glocal Shift Programme」
- ▶ QUESTION/Students Lab 運営
- ▶ ユース・アントレプレナーシップ事業 (ASTEM)
- ▶ 「Kyoto Innovation Night Vol.2」企画運営 (JETRO)
- ▶ リカレント教育「ニューフロンティア研修」(京都府)
- ▶ 「北区まちづくりプラットフォーム」運営事業
 - ▶ 奈良信用金庫 職員研修
 - ▶ トヨタ財団国際助成事業(台湾・タイ共同)
 - ▶ 中・高校生対象プログラム「わがままSDGs」
 - ▶ 高校生AL導入 (ノートルダム女学院高校・京都府立京都すばる高校)
 - ▶ 株式会社イシダ「新・new shine研修」

●Why

変わり続ける中で、変わらない想い

世の中も、事業の内容も変わって行きますが、今までも、これからも、グローバルセンターは世代・国籍・文化・バックグラウンド、また、様々な興味・問い・ものごとの見方をもつ「異質な人が集う場の価値」を普遍的であると信じて、活動を続けて行きます。

●Latest

<https://glocalcenter.jp/>

2021年にWEBサイトをリニューアルしました。
最新のグローバルセンターの活動はホームページ・SNSからご覧ください。



Facebook



instagram



Twitter



note

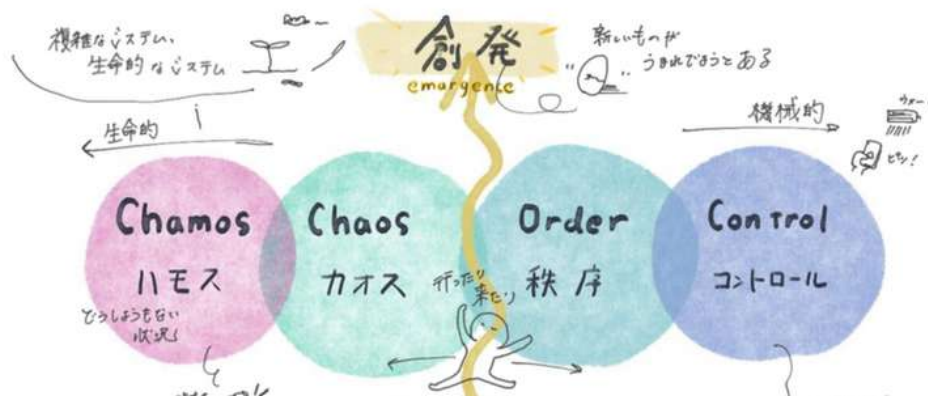


HP

大人がワクワクしたら、若者もワクワクする！ 知らないことに出会い続ける学びの場

GLOCAL SHIFT CAMP：変化の一步先をつくる場所 <上級>

「対話」と「変容（SHIFT）」をキーワードに、京都の複数の企業から未来を担う若手中堅社員が合同研修を受けることで、企業の垣根を超えたフラットなネットワークを創り、変容の土壌作りを行っています。異業種間の対話の中で、それぞれ自らやるべきことを見出し、これからの社会で求められる個人のあり方、考え方や働き方に向き合い、対話し受け止める。このような研修を通して、抽象度の高いテーマについても実践力を「体感」していただきました。またオンライン開催により、地理的な制約を超えて遠方からも参加いただくことができました。



リカレント研修：Z世代をシニアが学ぶ研修 <初級>

京都府生涯現役クリエイティブセンターよりリカレント研修「ニューフロンティア挑戦コース」を受託し、ミドル・シニア層を対象としたワークショップ型プログラムの企画運営を行いました。①新たな価値観を受け入れる力、②世代・性別・背景などの違いを認め合い味方につける力、③手放す力（unlearning）の獲得を目指しプログラムコーディネートを行いました。リカレント研修の実装は手ごたえを感じられるもので、「若者がワクワクする社会」を実現する際に、変化を楽しむことができる「ミドル・シニア層」は欠かせない存在だと実感することができました。



Future Session Project : 「真のバンカーとは？」 <中級>

人間的成長とバンカーの土台作りを目的とした金融機関向け研修プロジェクトです。「預けたお金がどこに使われているのか?」「お金とは何か?」「つくりたい循環とは?」「今、必要なリーダーシップとは?」などの問いを掲げ、リーマンショック以降のトリオドス銀行等が参画し発足したGABV※等の国際的な動向を捉えながら、真の地域金融機関のバンカーとして求められる役割の再定義、動画作成・個人のアクションプランの宣言を行いました。参加者からは、研修を通じて「当たり前」を見つめ直し「当たり前」に対する変化や新しい発見を得たとの声がありました。

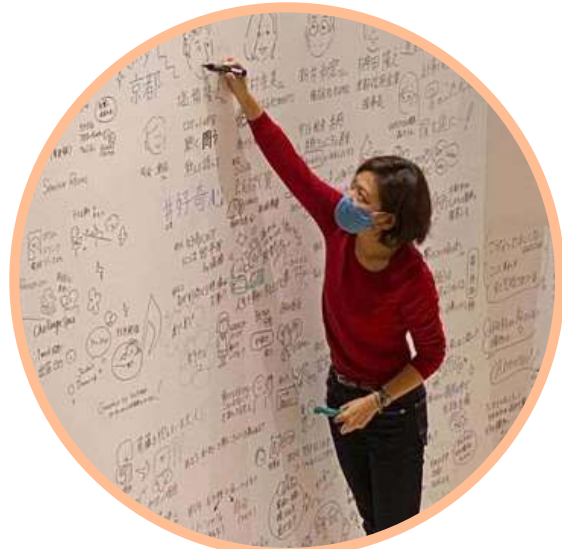
※利益よりも持続可能な社会や環境の維持という価値に重きを置く銀行による、非営利の国際組織



講師・ファシリテーター派遣：変化を促す仲間になる

議論や対話を可視化することで場を促すグラフィックレコーディングやファシリテーショングラフィックは9件の依頼がありました。

また、SDGsをテーマした課題解決型ワークショップや対話のテーブルファシリテーション、「グローバル人材の開発」「社会人から学ぶ社会の動かし方」をテーマとする講演等の依頼は行政機関・大学・高校から10件以上あり、今後もこういった講師派遣のニーズが高まっていくことが期待できそうです。



探究型の学習で身に着ける。 先の見えない時代を生き抜く力

高校生対象 アクティブラーニングプログラム

「Glocal shift Program」 学年・学校・地域を超えてつながる

高校生の「心のエンジン」が駆動することを目指す、校外での長期アクティブラーニング（AL）プログラムです。プログラムには通学圏外のオンライン参加者を含め23名が参加し、全17回のワークショップをリアルとオンラインのハイブリッド形式で実施しました。24名の講師・審査員等のゲストと交流し、3社1地域でのフィールドワークや文献調査等を経て「自分たちが捉えた社会課題に対する解決策」を提案し、16名がプログラムを修了しました。また「体験版」として1日で実施した短期プログラムには京都府内2校から27名が参加しました。修了生が自主的に運営チームに加入し、インターン生と一緒に若者視点のより学びやすい場づくりを目指しました。



大学生対象 PBL事業

京都と学生が出会い続けた8年間の成果

京都市より委託を受けて行う「グローバル人財育成事業 京都企業と連携した次代の京都を担う人財の育成事業」では、

- ①大学や国籍の枠を越えた留学生を含む京都の学生を、グローバルな視点と地域（ローカル）の発展を支える情熱を併せ持つ「グローバル」な担い手として育成すること
- ②学生と京都の企業がお互いを知る機会を創出すること

上記2つを目的として、京都企業と連携したPBLを通じた人財育成事業を実施しました。

8年間の継続の成果として、本事業に参加した学生の約3割が京都企業へ就職しており、就職活動という「点」ではなく、PBLという「面」での出会い・相互理解の場づくりの一定の効果を見ることができました。

事例

PBL：京念珠の技術と板倉の想いを未来に残す取り組みを学生目線で考え提案する 「数珠の輪プロジェクト」（連携先：株式会社意匠京念珠板倉）



学生拠点「Students Lab」があるQUESTIONの会員でもある株式会社京念珠板倉代表より「若い感性や意見を事業に取り入れていきたい！」というお話をいただきPBLを実施。

プロジェクト期間終了後も学生が自主的に集まり、念珠の「あまり玉」からアクセサリーを作成し販売するアクセサリーブランドの立ち上げから運営までを行いました。

大手百貨店での販売会やSNSによる広報活動など、現在も学生たちが活動を続けています。

教育機関対象 アクティブラーニング導入支援 フェーズに合わせた伴走のかたち

大学をはじめ、高校・中学校も対象に実施しているAL導入支援事業では、企業人を招いての講演・ワークショップ・通年でのカリキュラム開発運営など、各校の希望にあわせ多様な関わり方を展開しています。特に7年間長期的に継続している授業では、グローバルによる授業の企画・運営から、教員による企画運営チームへのサポート・伴走へと支援の形のシフトも見られます。

京都府内を中心に、新しく始める授業の依頼、既存の教育プログラムをアップデートしたいという依頼が増加しており、教員のFD※についてもニーズの高まりを感じています。

※Faculty Development：教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称



大学生対象 職能資格プログラム 社会と大学の協働が育んだ人材の証

「グローバルプロジェクトマネジャー（GPM）資格」プログラムを実施する6大学の連携事業事務局として事業運営および資格発行を行っています。

京都の企業等との連携PBLを含むカリキュラムで構成される本資格制度の目標は、地域社会の発展に情熱を注ぎながらグローバルな視野でビジネスを実践できる「グローバル人材」を育成することであり、京都の経済界・大学界・京都府・京都市にも共有されています。連携校担当者による幹事会・学生による合同の成果報告会など、大学間の協働の場を作ることでプログラムの更なる発展を目指しています。R3年度はプログラム実施大学（京都産業大学・京都橘大学・京都府立大学・京都文教大学・佛教大学・龍谷大学）から計20名の学生がGPM資格を取得しました。

事例

報告会：GPMプログラム連携校とグローバルセンターによるPBLの成果報告会 「第9回グローバル人材フォーラム」



GPM資格の周知や教育の社会化を目指し、京都の経済団体・自治体の後援を受け毎年度末に実施するPBLから生まれた多様な成果や学びを社会に共有する場です。R3年度は2月25日にオンライン開催し、経済界や他地域からの参加者も含め約100名が参加し、関連イベントの「学生×企業人の交流会」には約40名が集まり大盛況となりました。

Students Labでのチーム代表学生の交流、発表の動画視聴と当日の意見交換会、審査員とチームの質疑応答セッションなど、オンラインでも参加者同士が有機的なつながりを感じられる場となりました。

Event

WORK HARD, PLAY HARD !

出会いから始まる学び・乾杯から始まる繋がり

2021年度は、学生209名 × 社会人162名の皆様と一緒にイベントの場をつくりました。



▼ イベント一覧 参加者人数

● グローバルファンの集い 学生33名×社会人54名
グローバルセンターに関わる全ての人の、フラットな交流会
04/27 20th グローバルファンの集い 【ONLINE】
07/16 21st グローバルファンの集い 【ONLINE】
09/17 22nd グローバルファンの集い 【ONLINE】
12/16 特別編へやうなアダルトの集い〜 【REAL】

● 学生×社会人の交流会 学生70名×社会人41名
グローバルセンターが実施する色々な事業を入口に学生と社会人の立場で参加する交流会
04/24 留学生のトークイベント「留学生が留学生がぶっちゃける〜ここが変！日本の就職活動」 【REAL】
05/07 第1回 Students Lab 交流会説明会 【ONLINE】
06/05 第2回 Students Lab 交流会 【ONLINE】
07/03 第3回 Students Lab 交流会 【ONLINE】
08/20 第4回 Students Lab 交流会 【ONLINE】
10/08 第5回 Students Lab 交流会 【ONLINE】
03/16 2mm学生 × 社会人 Students Lab交流会 【REAL & ONLINE】
01/18 学生×企業人の交流会「キャリアと採用はどう変わる？〜アフターコロナの社会」 【ONLINE】

● Students Lab 学生主催企画 学生21名×社会人8名
普段物事や景色を捉えている視点を少しずらして考えてみる企画、通称「2mmの会」
04/22 2mmずらして考える 【REAL】
06/17 2mmずらして考える 就活編 【REAL】
12/11 2mmずらして考える QUESTION FES 2021 【REAL】

● 学生の成果報告会 学生85名×社会人59名
学校外のフィールドに飛び出してPBL等やアクティブラーニングに取り組む学生から社会に向けた成果報告会
12/18 高校生対象 Glocal Shift Programme 2021 最終成果報告会 【REAL & ONLINE】
02/25 第9回グローバル人材フォーラム 【ONLINE】

Blog

noteマガジン一覧 note.com/glocalcenter



About / Staff

● 無茶ぶり寄稿シリーズ What's GLOCAL?

いつも巻き込まれてくださり、ありがとうございます♡

● 行元のnote

グローバルセンター代表の行元です。本好きです。

● インターン生三谷の成長記録

● インターン生よっぴーのnote

Service

● SHIFT

グローバルセンターのセミナーや研修についてまとめています。

● 生涯現役クリエイティブセンター × GLOCALの軌跡

2022年2月からスタートしたグローバルセンターの新しい試みの記録。

Students

● Japan × Taiwan × Thailand PBL

2021年の春にスタートした台湾とタイとタッグを組んで京都で新しい社会課題解決のシステムを考える、グローバルセンター初の全英語でのPBLの軌跡。

● 大学間連携「GPM資格」と「グローバル人材フォーラム」

「グローバルプロジェクトマネジャー (GPM) 資格」プログラムを実施する6大学 (京都産業大学・京都橘大学・京都文教大学・佛教大学・龍谷大学・京都光華女子大学) の連携事業事務局から、大学生のPBLの成果報告会「グローバル人材フォーラム」とその関連イベント等の情報をお伝えします。

● 高校生が世界を変える！

グローバル・シフト・プログラム

2020年夏始動！高校生対象プログラム「Glocal Shift Programme〜君が世界を変える、君の世界を変える〜」プログラムを実施するスタッフの目線で、日々の情報を更新していきます☆

● ワガママSDGs京都

今年度から新たに始まった「ワガママSDGs 京都」！
ワガママSDGsとは、中高生が自分事として発見した社会課題の解決、「ワガママ」の実現を協働して「試作 (プロトタイプ)」するSDGs実証プロジェクトです。STEP1では講師を招いての講演を通じた社会課題解決、ワガママ=自分事から始まる課題解決について学びます。STEP2では考えた課題解決策を地域のサポーター (企業・行政・大学・金融機関など) と一緒に試作を行い、実践までチャレンジします！

愛あるサポーターの皆様に支えられて心強く10年目を目指しています♥

いつもグローバルセンターの活動にご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

2021年度はコロナ禍による活動の制約により、財政が非常に厳しい状況となる中、

皆様からいただいたご寄附・賛助会費数は合わせて117件、

過去最高額となる合計4,998,000円のご支援をいただきました。

多大なご支援のおかげをもちまして、活動への大きな支障もなく運営を行い

「認定NPO法人」継続の年間100件以上の寄附の要件も達成することができました。

当センターは、来る2023年2月15日に設立10周年を迎えます。不透明な先行きを案じる状況ではありますが、若者が中心となりワクワクする社会を創る仕掛けづくりに更に邁進していきたいと存じます。この場を借りて心より御礼を申し上げますとともに、変わらぬご支援とお力添えのほど宜しくお願い申し上げます。

皆様から頂いた温かいご支援の総額は下記のとおりとなりました。

117件／4,998,000円

賛助会費：3,303,000円（法人 47件、個人 31件）

寄附金：1,695,000円（法人 3件、個人 36件）

寄附・賛助会員（企業・団体）一覧（五十音順）

- | | | |
|------------------|----------------------|----------------------|
| ● 曙産業株式会社 | ● 一般財団法人三洋化成社会貢献財団 | ● 株式会社西浅 |
| ● 生田産機工業株式会社 | ● 株式会社GSユアサ | ● 日新電機株式会社 |
| ● 株式会社インダ | ● 株式会社JTB 京都支店 | ● 日東薬品工業株式会社 |
| ● 尾池工業株式会社 | ● 株式会社島津製作所 | ● 日本新薬株式会社 |
| ● 株式会社大垣書店 | ● 株式会社松栄堂 | ● 株式会社パックス・サワダ |
| ● 小川珈琲株式会社 | ● 菅原精機株式会社 | ● 税理士法人be |
| ● 株式会社片岡製作所 | ● 株式会社SCREENホールディングス | ● 学校法人佛教教育学園 |
| ● 株式会社京写 | ● 第一工業製薬株式会社 | ● 株式会社フラットエージェンシー |
| ● 京都エレベータ株式会社 | ● 大和電設工業株式会社 | ● 株式会社ブリッジコーポレーション |
| ● 京都産業大学 | ● 株式会社たおやかカンパニー | ● Voice4u株式会社 |
| ● 学校法人京都橘学園京都橘大学 | ● 株式会社塚腰運送 | ● 株式会社堀場製作所 |
| ● 京都文教大学 | ● 東邦電気産業株式会社 | ● 村田機械株式会社 |
| ● 医療法人啓信会 | ● 株式会社特殊高所技術 | ● 株式会社村田製作所 |
| ● 株式会社ケービデバイス | ● 長津工業株式会社 | ● 株式会社メディケア・リード・ジャパン |
| ● 株式会社阪口製作所 | ● 株式会社長津製作所 | ● 学校法人龍谷大学 |
| ● 佐々木化学薬品株式会社 | ● 株式会社ナベル | ● 株式会社ローバー都市建築事務所 |
| ● 株式会社サン食品 | ● 奈良信用金庫 | (2022年3月末時点) |

▼寄附金は例えばこんなことに活用させて頂いております。

- コロナ禍でのオンラインの学習機会の創出、場づくり、先生の伴走等の事業費
- コロナ禍で行動に制約がかかる中での機会創出（海外との連携推進など）の事業費
- アクティブラーニング教育実施に、公立の学校では私立の学校のように予算が捻出できないこともあるのが現実。そのような時に学びの平等性を確保するための活動費補助
- 学生・社会人が学ぶイベントやセミナーの会場利用料や参考図書購入
- スタッフがよりよい人材育成の手法や学びを得るための外部セミナー参加費や研修費として

**特定非営利活動法人
グローバル人材開発センター**

■ 事務局

〒602-8061

京都市上京区甲斐守町97 西陣産業創造会館 2F

☎ 075-411-5010

■ Students Lab Office (※学生活動拠点)

〒604-8006

京都市中京区下丸屋町390-2 QUESTION 5F

☎ 070-5262-7066

✉ info@globalcenter.jp

🌐 <https://globalcenter.jp/>